

永く生きる 建 築

～営繕だより～



福島県須賀川土木事務所(3頁参照)

創刊号
2024.5

はじめに

皆さんは『営繕』という言葉をご存じでしょうか。『えいぜん』と読み、『建物の建築、修繕、模様替え』のことです。

福島県営繕課では、次世代に継承できる質の高い建築物『永く生きる建築』を目指して、県有建築物の設計・工事監理等に取り組んでいます。

このたび、営繕課の取組をより多くの方々に知っていただけるよう、『永く生きる建築～営繕だより～』を発行する運びとなりました。県有建築物の紹介や営繕行政に関する施策・取組などをお伝えしていきます。

営繕課の歩み

県庁内の各部局（病院、学校、警察など）に分散していた建築関係業務を一元化し効率化を図るため、昭和44年に営繕課が発足しました。

県有建築物を整備する際の設計者選定方式の確立、景観やユニバーサルデザインへの対応、環境負荷への配慮、耐震化・減災化など様々な取組を主導してきました。

近年では、東日本大震災からの復興関連施設の整備、カーボンニュートラル（ZEB（※）化や木造化・木質化）への取組などがあります。

※ZEBについては3頁を御覧ください。

営繕課の取組と施設整備

教育・文化・医療など県の様々な施策を実現するために必要となる県有建築物について、安全・安心はもとより、様々な性能・機能を十分に確保するため、建築技術の側面から施設所管部局の取組を支援しています。

設計・工事監理はもとより、設計前の基本構想等を策定する段階から、建築・設備・土木の専門職員のチームワークにより、事業スケジュールの作成や概算総事業費の算出、公共施設に求められる先導的な政策テーマへの対応などについて技術支援しています。



フォレストパークあだたら
(大玉村)



ビッグパレットふくしま
(郡山市)



福島県男女共生センター
(二本松市)



アクアマリンふくしま
(いわき市)



東日本大震災・原子力災害伝承館
(双葉町)



ふくしま医療センターこころの杜
(矢吹町)



郡山合同庁舎
(工事中)

設計者 選定



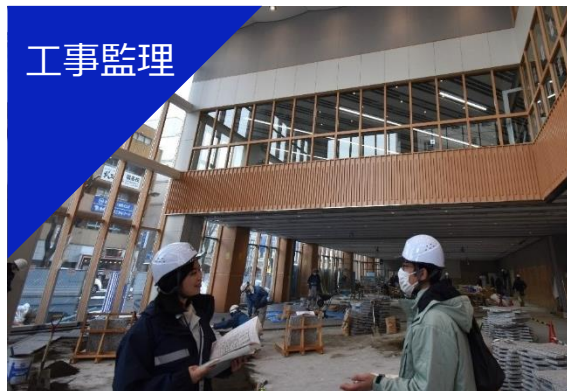
施設整備に最適な設計者を公募型プロポーザル等により、専門分野の有識者を交えた審査委員会などで選定します。

設計



設計では、施設所管部局の要望をはじめ、法令、敷地、用途及び予算など様々な与条件を踏まえながら、図面、工事費の積算、概略工程表などを作成します。

工事監理



工事監理では、職員が工事の監督員となって工事の進捗のほか、設計図書のとおり施工されているか、施工内容が適切であるかなどを現地で確認します。

維持管理



建物を永く使うためには適切な維持管理が必要です。10年、30年などのスパンで定期的に屋根や外壁を改修しながら、省エネ化や設備機器の更新などの社会的要請や県民のニーズへ対応します。

カーボンニュートラルへの対応

木造化・ 木質化



施設整備に当たり、環境負荷が少なく持続可能な建築材料である木材の利用を進めています。柱や梁などに製材や木質材料を用いる木造化をはじめ、内装の木質化に取り組んでいます。

ZEB化



室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギー化と太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入により、年間の消費エネルギーの収支をゼロにすることを目指すZEB化に取り組んでいます。

「福島県須賀川土木事務所」について（表紙の建物）



外観

用途 事務所
 構造 鉄筋コンクリート造 + 木造
 階数 地上2階建て
 延べ面積 656.46㎡

施設の老朽化に伴い、令和2年3月に改築しました。カーボンニュートラルの実現に向け、太陽光や地中熱などの再生可能エネルギー技術を積極的に導入し、庁舎としては東北初の「Nearly ZEB」の認証を取得しました。



執務室

木質材料であるCLTを屋根に使用し、木のぬくもりを感じながら、柱のない開放的な内部空間を実現しました。



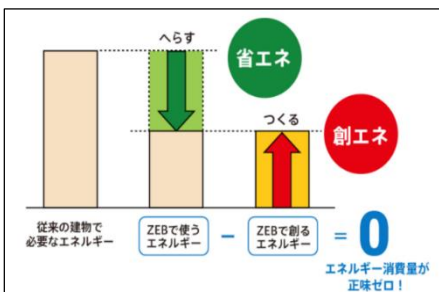
室内と室外に水平に突き出たライトシェルフは、窓の上部から反射光を取り入れ天井面を明るくします。夏場は直射日光を遮蔽し室温上昇を抑制する効果があります。

POINT Nearly ZEB

POINT CLT

ZEBは「Net Zero Energy Building」の略です。省エネと創エネにより、従来の建物で必要なエネルギーを75%以上削減するとNearly ZEBとなります。

CLTは「Cross Laminated Timber」の略称で、直交集成板と呼ばれています。ひき板（ラミナ）を繊維方向が互いに直交するように積層接着した木質材料で、構造体と内装材を兼用することができ、施工の簡素化が可能となります。



| | |
|--------------|-------------------|
| 『ZEB』 | 省エネ+創エネで0%以下まで削減 |
| Nearly ZEB | 省エネ+創エネで25%以下まで削減 |
| ZEB Ready | 省エネで50%以下まで削減 |
| ZEB Oriented | 延べ面積1万㎡以上の建物で省エネ |



（出典／一般社団法人日本CLT協会）

環境省ホームページ「ZEBの定義」を加工して作成
 (https://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/01.html)

「福島県立安積中学校整備工事」について



県立安積高等学校の敷地内で、中学校舎の建設工事を進めています。

図書館などの既存建物を解体し、新築校舎の躯体工事を進めています（4月末時点）。

隣接する安積歴史博物館の意匠に配慮しながら、普通教室と一体的に使える交流ラウンジや学年集会などに対応できる多目的スペースも整備しています。

今後も工事の進捗状況をお伝えしていきます。



ドローンからの撮影



1階の様子です。柱のように見える鉄パイプは、支保工と呼ばれる仮設材です。支保工はコンクリートが硬化し強度が確保できるまでの間、荷重を支えます。



2階の様子です。煙突のように突き出ている箱型の部分にコンクリートを充填し柱を造ります。

編集後記

『永く生きる建築～営繕だより～』はいかがでしたでしょうか。『永く生きる建築』とは、人、地域、環境などと共生し、将来にわたり愛される施設整備を目指して福島県営繕課が掲げてきたテーマです。

皆さんの周りにも、営繕課が関わってきた建築物があるかもしれません！

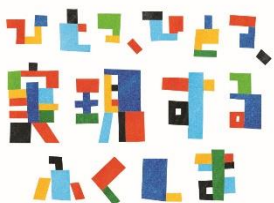
発行については土木部メールマガジンでもお知らせします。メールマガジンの配信を希望される方は、【土木部メルマガ希望】と書いて送信してください。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp



『永く生きる建築～営繕だより』は、3か月ごとに発行し、営繕課のHPに掲載します。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41065c/>



問い合わせ先
福島県土木部営繕課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16（本庁舎4階）
電話 024-521-7530（直通） FAX 024-521-7717